

ディスクドッジ愛知県大会 2019



<大会報告書>

2019年11月24日

AIEDA
AIEDA
AICHI FLYING DISC ASSOCIATION

一般社団法人愛知県フライングディスク協会

【大会概要】

- 名 称 ディスクドッチ愛知県大会 2019
- 日 時 令和1年11月24日（日）9：00～17：00
- 場 所 名古屋市天白スポーツセンター
- 主 催 一般社団法人愛知県フライングディスク協会
- 共 催 一般社団法人日本ドッチビー協会
- 後 援 名古屋市教育委員会
- (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団
- (公財) 名古屋市教育スポーツ協会
- (一社) 日本フライングディスク協会
- 協 賛 文化シャッター株式会社
- 株式会社クラブジュニア
- ワタミ株式会社

【お問い合わせ先】

一般社団法人愛知県フライングディスク協会事務局
住所：〒470-1211 愛知県豊田市東畝部町宗定 397 番地
TEL：0565-30-7065
FAX：0565-21-5862
Mail：info@aifda.or.jp
担当：前田 尚希

【参加チーム一覧】

<低学年の部（1～3年生）>

6 チーム・73 名

- ①苗代 Smile/名古屋市/12 名
- ②YAMATO unity あめいず/一宮市/13 名
- ③JDC 子猿/知多市/9 名
- ④GDT B/犬山市/12 名
- ⑤AXTOS PHOENIX Kids./大府市/13 名
- ⑥Fire Jr. 2/稲沢市/14 名

<高学年の部（4～6年生）>

14 チーム・186 名

- ①ドラゴンファイターズ/瀬戸市/14 名
- ②W&D/東京都/14 名
- ③YAWATA オールスターズ/知多市/15 名
- ④苗代 Victory/名古屋市/13 名
- ⑤風神 Jr./東海市/12 名
- ⑥YAMATO unity/一宮市/12 名
- ⑦YAMATO unity チェイス/一宮市/12 名
- ⑧JDC 大猿/知多市/11 名
- ⑨GDT A/犬山市/8 名
- ⑩Familia 2 号/多治見市/16 名
- ⑪新知ファンタグレープ/知多市/11 名
- ⑫GreenEast-E/名古屋市/15 名
- ⑬AXTOS PHOENIX Jr./大府市/16 名
- ⑭Fire Jr./稲沢市/17 名

<一般レディースの部>

4 チーム・41 名

- ①苗代 Blaze/名古屋市/10 名
- ②JDC powerful woman/知多市/10 名
- ③Izanami/多治見市/11 名
- ④Ms. Fire/稲沢市/10 名

<一般オープンの部>

15 チーム・163 名

- ①苗代 Air/名古屋市/10 名
- ②守東 Sky/名古屋市/10 名
- ③風神/東海市/10 名
- ④Team Boon/知多市/11 名
- ⑤YAMATO crew/一宮市/15 名
- ⑥JDC 1st/知多市/10 名
- ⑦JDC 2nd/知多市/9 名
- ⑧四天王寺大学ドッジビー部/大阪府/13 名
- ⑨Familia 1 号/多治見市/11 名
- ⑩新知ファンタジスタ α/知多市/8 名
- ⑪FKC 夢（ドリーム）/扶桑町/10 名
- ⑫FKC 魂（ダマシイ）/扶桑町/9 名
- ⑬HKDA(unity sports)/香港/15 名
- ⑭AXTOS PHOENIX/大府市/13 名
- ⑮SBE Fire/稲沢市/9 名

【大会参加者数 一覧】

○参加選手総数 463 名

○大会関係者総数 14 名

○観戦・引率来場者数 約 200 名

◇大会関与者総数 477 名

大会関係来場者数 約 670 名

【大会最終順位】

『小学生低学年の部』

優勝	AXTOS PHOENIX Kids.
準優勝	YAMATO unity あめいず
第三位	苗代 Smile

『小学生高学年の部』

優勝	AXTOS PHOENIX Jr.
準優勝	W&D
第三位	Familia 2 号

『一般レディースの部』

優勝	苗代 Blaze
準優勝	Ms. Fire
第三位	Izanami

『一般オープンの部』

優勝	風神
準優勝	守東 Sky
第三位	HKDA(unity sports)

【大会ルール】

・競技ルール

日本ドッジビー協会制定ルールで実施。一部大会ルールを採用。

- 1) 試合の人数は小学生低学年の部・高学年の部=13名、一般オープンの部・レディースの部=10名
- 2) 試合時間は全て前/後半各2分30秒
- 3) 同点の場合=リーグ戦は引き分け、トーナメント戦は2分間の延長戦で勝敗が決するまで行う

・使用ディスク

日本ドッジビー協会公式ディスク「ドッジビー270 ミカサモデル」を使用

【競技方法】

- 1) 小学生低学年（1～3年生）の部
予選：3チームの計2リーグにて予選リーグ戦（引き分けあり）
順位決定：各予選リーグ上位2チームによる決勝トーナメント・各リーグ3位による5位決定戦
- 2) 小学生高学年（4～6年生）の部
予選：4～5チームの計3リーグにて予選リーグ戦（引き分けあり）
順位決定：各リーグ上位2チームによる決勝トーナメント・3位以下による下位トーナメント
- 3) 一般レディースの部
予選：4チームにて予選リーグ戦（引き分けあり）
順位決定：4チームにて決勝トーナメント
- 4) 一般オープンの部
予選：3～4チームの計4リーグにて予選リーグ戦（引き分けあり）
順位決定：各リーグ上位2チームによる決勝トーナメント・3位以下による下位トーナメント

【競技スケジュール】 大会スケジュールは別紙参照

【参加賞】

協賛社様ご提供の参加賞

- ①文化シヤッター株式会社様 ミニディスク
- ②ワタミ株式会社様 系列全店使用可能 500円お食事券

【講評】

11月24日曜日、冬の訪れを感じ肌寒くなってきた天気の中、全39チーム、463名の選手が集まりました。観戦者とスタッフその他関係者なども含め、約670名が集まり、『ディスクドッジ愛知県大会2019』が開催されました。



会場となった名古屋市天白体育センターは、体育館、屋内プール、弓道練習場などが完備された総合型スポーツ施設となっております。本大会が行われた第1競技場は、バスケットボールコートが2面・バレーコートが3面確保できる会場となっている広い会場でした。1,200席を越える観客席があり、競技者のみでなく観戦者にとっても恵まれた会場で開催することができました。

開会式では、大阪より初めての参加の四天王寺大学ドッジビー部、東京より参加のW&D、そして香港からの参加のHKDA(unity sports)各チームが主催者より紹介されました。国内外から多くの方に参加して頂き盛り上がった大会となりました。また、今大会は全チームが予選リーグ戦終了後に順位決定トーナメントがあり、少しでも多く試合をしていただき大会を楽しんでいただきたいという旨の挨拶がありました。

本大会では、表彰副賞として昨年に引き続き文化シャッター株式会社様のご協賛でドッジビーロゴ・オリジナルのメダル/ガラス盾/トロフィーを制作し贈呈させていただきました。大会中、本部前に提示をし、選手の注目を浴びていました。



また、副賞賞品として、ワタミ株式会社様より 1,000 円分のお食事券、株式会社クラブジュニア様より様々なドッジビーグッズをご協賛いただきました。こちらも選手の皆さまに大変喜んでいただきました。



小学生低学年の部では、AXTOS PHOENIX Kids.が全勝優勝を成し遂げました。その一方で決勝・3位決定戦共に1ポイント差で勝敗が決まる好ゲームとなり、全体のレベルの高さが伺える大会となりました。



【低学年の部優勝】AXTOS PHOENIX Kids.

小学生高学年の部では、低学年の部に続き AXTOS PHOENIX Jr.が全勝優勝を成し遂げました。決勝戦では高学年の部も1ポイント差という好ゲームとなり、ディスクをキャッチする度に会場内に大歓声が響くなどとても盛り上がった試合となりました。



【高学年の部優勝】AXTOS PHOENIX Jr.

一般レディースの部では、昨年度よりもチーム数・参加者数が増え4チームで行われました。決勝戦では、ここまで全勝の Ms. Fire がこのまま優勝すると思われましたが、苗代 Blaze が予選のリベンジを達成し1ポイント差で優勝しました。レディースの部では全敗・全勝したチームが無く勝つ喜び・負ける悔しさをどのチームも感じ今後よりレベルアップし、盛り上がっていくのではないかと感じました。



【一般レディースの部優勝】苗代 Blaze

一般オープンの部では、早く正確なスローと粘り強いディフェンスが目立ち好ゲームが多くみられる中、決勝では、予選リーグでも対戦をした風神対守東 Sky の試合になりました。予選で8ポイント差で勝利した守東 Sky が優勢かと思われましたが、1ポイント差で風神が勝利しました。

また、香港から参加した HKDA(unity sports)が組織的な守備で3位入賞を果たし海外のレベルの高さを実感しました。



【一般オープンの部優勝】風神



【一般オープンの部第2位】守東 Sky



【一般オープンの部第3位】HKDA(unity sports)

今大会では、愛知県で初めての試みとして会場に付属の壁掛け電光掲示板及び自立式のスポーツタイマーを使用しました。選手が試合の残り時間が見ることができるようになり、試合の残り時間・人数に応じた様々な作戦が見られ、より深い試合展開がみられました。また、観客席からも試合の残り時間を知ることができ、試合の臨場感がより伝わったのではと思います。



また、今大会では、開会式の挨拶にあったように下位順位決定トーナメントも行いました。昨年度よりチーム辺りの試合数が増え選手にとってより充実した大会になったのではと思います。惜しくも予選リーグで全敗してしまったチームが下位順位決定トーナメントで全勝をし、「下位の中だが1位になることができ嬉しい。」といった嬉しい声も聞こえました。しかしその一方でトーナメント戦での試合数が増え、審判・スタッフは慌ただしい対応となり課題点も多く見つかりました。

また、審判が不足しており参加選手に協力をして頂いて大会を行うことになり、一部の選手に負担が大きくなってしまいました。審判の育成及び、各チームから1人審判を出していただくシステム作りが必要だと感じました。

今大会では、全部門の決勝が1ポイント差となるなど好ゲームが続き、参加チーム全体のレベルアップを感じ今後の大会がより楽しみになる大会となりました。

さらに今年度から愛知県では、お昼休みの時間を利用し、アルティメットやガッツといった別のフライングディスクの種目の紹介をしております。

今回はガッツを行い、小森日本代表監督をはじめ、2020年度日本代表メンバー候補の方々に来ていただきデモンストレーションを行っていただきました。ドッジビーとは違ったプラスチックのディスクの速さ、キャッチの音に会場からは驚きの声が聞こえました。ミニ体験会も行われ小学生を中心にガッツに触れて頂き、楽しそうな声が聞こえました。小学生が多いディスクドッジからフライングディスク全体がより盛り上がればと思います。

最後になりましたが、本大会運営において審判員としてのご助力、また線審を各チームの皆様にご協力いただき、最後まで大きなけががなく終わることができましたことを関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。